

令和5年度 事業計画書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

【事業運営方針】

博多港は、福岡都市圏はもとより九州・西日本地域の市民生活や経済活動を支える物流の拠点として、また、日韓定期航路に加え、外航クルーズ客船の寄港など、人流の拠点としても重要な役割を果たしている。

令和4年(2022年)の港勢は、新型コロナウイルスの影響等により、国際海上コンテナ貨物取扱量は約89万TEUとなった。外国航路船舶乗降人員数については、10月11日をもって政府による旅客運送休止要請が解除され、11月に韓国航路が再開し、定期航路約3.5千人となったが、不定期航路については前年に引き続き皆無であった。

博多港は、東アジアにおける地理的優位性や鉄道、内航及び航空など多様な輸送モードが集積する特性を活かし、独自のサービスを展開しているが、今後とも九州地域の成長を牽引し、国際競争力を強化するため、コンテナターミナルの拡張(機能強化)などを進めるとともに、既存ふ頭においても施設の有効活用等を図り、“活力と存在感に満ちた「日本の対アジア拠点港」”をめざした取り組みを進めていくこととしている。

当協会においても引き続き、使いやすい博多港づくりに向け、港湾施設の利用・運営に関する調査研究を行うとともに、更なる利用促進を実現するため福岡市港湾空港局と協働して、国内外においてポートセールス活動を展開し、航路誘致や集荷対策に取り組んでいく。また、市民等の博多港への理解を深めるための博多港PR事業や啓発宣伝に関する事業を進めていく。

【事業概要】

1 啓発宣伝活動事業

(1) 広報宣伝事業

- ・海や港に関するイベントへの参画
博多どんたく港まつり、海の日行事、環境美化活動への協賛等
- ・各種マスメディアを活用した広報の実施
業界紙や新聞など紙面への広告掲載
- ・博多港PR事業の実施
港見学会、博多湾クルージングなど市民向けPR事業の実施

(2) テレビ望遠鏡の運用

- ・テレビ望遠鏡(博多ポートタワー展望室)の設置、運営

(3) 会員研修事業

- ・講演会、研修会、新入社員向け研修の実施
- ・博多港海上見学会の実施

(4) 情報提供事業

- ・会報「みなとはかた」の発行(年4回)
- ・港湾に関する各種情報の発信、刊行物・資料の配付
- ・ホームページにおいて事業概要、会員情報、博多港トピックス等の掲示

(5) 交流・協調事業

- ・ 会員総会、会員交流会の開催
- ・ 新年賀詞交歓会の開催
- ・ 関係諸団体との連携及び今後の連携のあり方の見直し
- ・ グローバル人材確保のための外国人学校との連携
- ・ 会員専用ページの運用

(6) その他

- ・ 会員拡充活動の実施

2 施設整備・運営調査研究事業

(1) 港湾整備・運営に関する調査研究

- ・ 使いやすい博多港づくり協議会への参画
- ・ 博多港の今後の施設整備の課題についての講演会

(2) 工場視察及び他港視察

- ・ 博多港背後圏の主要工場や物流施設等の視察
- ・ 国内外の先進港湾の視察

(3) 要望活動

- ・ 国土交通省、政党及び国会関係者への港湾整備促進等に関する要望
- ・ 福岡市への博多港整備及び運営の改善に関する要望

3 ポートセールス事業

(1) 海外ポートセールスミッション派遣事業

- ・ 東南アジア等訪問団の派遣

(2) 博多港利用促進事業

- ・ 博多港振興セミナーの開催
- ・ 初入港歓迎訪船の実施

(3) ポートセールス用パンフレット等の作成・配布

- ・ 「PORT OF HAKATA」の作成等

(4) その他

- ・ 福岡貿易会など関連団体との博多港視察会や意見交換会の開催
- ・ 荷主企業等を招いた博多港視察会の開催

4 その他協会運営

(1) 諸会議の開催

- ・ 総会、理事会及び各委員会（総務、事業・企画、施設整備調査）の開催